

1限目

みんなでつくる

より良い学校

— 子どもの意見を学校運営に生かす —



港区「区長へのメッセージ(子ども版広聴)」

港区では、子どもの声を区政に反映していくため、「区長へのメッセージ(子ども版広聴)」を実施しています。
いただいた意見に対して、子ども宛ての手紙で回答するとともに、実際に区の実情や施設の改善につながった事例もあります。

事業の概要

区長へのメッセージ(子ども版広聴)



子どもの声を区政に反映していくために、子どもたちが学校や普段の生活で思ったこと、良かったこと、困っていることや、より良いまちにしていこうためのアイデアを受け付けています。

ご意見等に対する回答は、子ども宛ての手紙として、子どもに伝わる表現でお届けします。

区政の改善や政策につながった提案について、表彰制度があります。

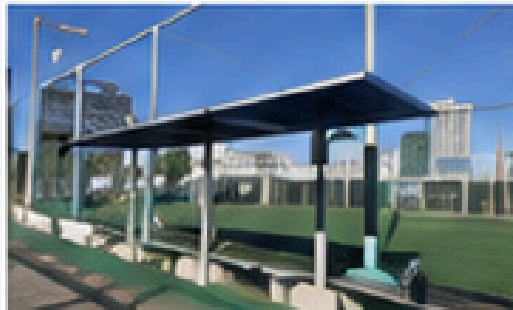
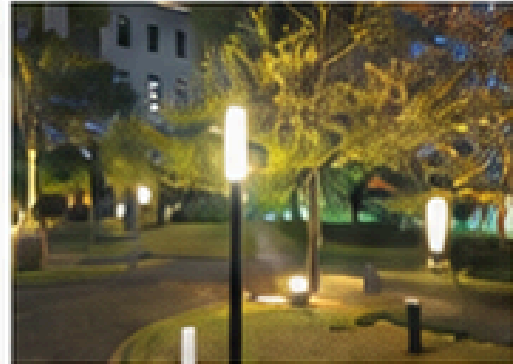
対象

18歳未満の子ども
※18歳以上の方は[区民の声](#)をご利用ください。



いただいたご意見に対し、
子ども宛ての手紙で、子どもに
伝わる表現で回答しています。

主な意見・提案と反映事例

意見概要	回答	現地の様子
青山橋のごみと たばこに困っています。 ごみも多いです。 きれいなまちがいいです。	港区では、決められた場所以外でタバコを吸うことや、ポイ捨てをすることを禁止しています。…道路に「タバコを吸わないでください」のシールを貼ります。引き続き、「みなとタバコルール」をもとに、たばこを吸う人にマナーを守って吸ってもらうことで、みんなが暮らしやすいまちにしていきます。	 青山橋に設置した 路上喫煙防止シール
芝浦中央公園運動場の フットサルコート のベンチの屋根がないので、 夏、暑いと思います。 直して欲しいです。	暑さに気を付けてフットサルを楽しんでいただけるよう、7月19日に、ベンチの上に、新しい屋根をつけました。これからもたくさんの方に、フットサルを楽しんでもらえる施設にしていきます。	 芝浦中央公園運動場に 設置した屋根
夕凧橋際遊び場に 時計がほしいです。 時計があると、かたづけて 6時ちょうどにできるからです。	夕凧橋際遊び場で遊んでくれてありがとう。遊び場に時計をつけられるよう、お金を準備して、つける場所を考えていきます。 (令和7年2月設置完了)	 夕凧橋際遊び場に 設置した時計
芝浜小学校前道路に ある細長い黒の照明が グラグラしていて危ない です。みんなが触っていて ケガをしそうなので直して ください。	みなとパーク芝浦の照明について教えていただきありがとうございます。通路を通るみなさんが照明に触らないように注意するはり紙を貼りました。照明はすぐに倒れてしまうような心配はありませんが、ぐらぐらしないように固定する工事を行うために準備をしています。 (現在は固定工事完了)	 固定工事を行った みなとパーク芝浦の照明

引用元：港区公式ホームページ「区長へのメッセージ(子ども版広聴)」
<https://www.city.minato.tokyo.jp/kouhou/kodomokocho.html> (令和8年9月時点)

2限目

AIと、 自分で考える力。

— 子どもの成長・発達を踏まえた生成AIとの付き合い方 —



港区立学校版生成AIの利用に関するルール



くらし・手続き 子育て・教育 健康・福祉 防災・生活安全 まちづくり 文化・スポーツ 産業・観光 区政情報



[トップページ](#) > [教育・学校](#) > [先端教育の推進](#) > [生成AIの活用について](#) > 港区立学校版生成AIの利用に関するルール

更新日：2026年10月1日 ページID：181789

港区立学校版生成A I の利用に関するルール

生成A I は便利な一方で誤った情報を含む可能性や、使い方によっては学習や著作権等に影響を及ぼす場合もあります。港区教育委員会では、児童・生徒が生成A I と適切に向き合いながら学習できるよう、基本的なルールや注意点をまとめました。

基本ルールの主な内容について

本ルールでは生成A I の回答をそのまま利用せず、自ら考え判断すること、個人情報を入力しないこと、生成された情報の正確性を確認することなどを定めています。

[港区立学校版生成A I の利用に関する基本ルール \(PDF: 413KB\)](#)

児童・生徒が守る基本ルール

- 「先生の指示を守ること」
- 「自分で考えることを大切にすること」
- 「最終的な答えは自分で考えること」

港区は
「自分で考えること」
を基本ルールに
位置付けています。

発達段階に応じた内容

小学校低学年向けには「先生に相談すること」、小学校高学年向けには「情報の真偽を確かめること」、中学生向けには「A I の特性を理解し、自ら判断すること」など発達段階に応じた差し込み用のリーフレットも作成しています。

- [児童・生徒向け生成A I リーフレット \(PDF: 821KB\)](#)
- [\(発達段階用\) 生成A I リーフレット差し込み用 \(PDF: 375KB\)](#)

関連ページ

- GIGAスクール推進
- GIGAスクール構想に伴うリーフレットを作成しました
- 港区GIGAスクール構想について
- MINATOスタイル
- ジャムスペアレントの設定について
- 港区学校情報安全対策基準について

Pick up

オンラインサービス

発達段階に応じて
伝え方を工夫しています。
(低学年・高学年・中学生
それぞれにリーフレットを作成)

MINATO AIルール

① AIを使うときのルール

次のことを守り、適切に活用しましょう。

- ✓ **個人情報**は入れません。
 - ・ **あなたの名前、住所、電話番号、生年月日、学校の名前、クラス名、おうちの人の名前**など、自分や友達の個人情報は、ぜったいにAIに入力しません。
 - ・ 成績など、学校で大切な情報も入れません。
 - ・ 自分や友達の写真・動画は、AIに入力しません。
- ✓ AIを使って、**友達を傷つけることや嫌な気持ちになる文章を作**りません。
- ✓ **他の人が作った絵や文章**を、まるで自分が作ったかのようにAIに入力したり、AIの出力として発表したりしません。
- ✓ AIを使った場合は、何を質問し、どの回答を参考にしたかが分かるようにします。

② 宿題や課題でのAIの使い方

- ✓ 先生から「AIを使ってよいです」という指示があった場合のみ使いましょう。
- ✓ AIを使って文章を作るときは、**どこまでAIを使ったか**を先生にしっかり伝えましょう。
- ✓ **宿題やレポートを、AIにすべて作らせて提出はしません。**

宿題や課題でAIを使ったときは先生の指示に従って使った内容が分かるメモやスクリーンショットを提出します。

困ったことがあったら、間違えてしまったらすぐに先生に相談しましょう！

AIと学ぶための3つの基本ルール

1



AIを使うときは、**必ず先生の指示やルールに従いましょう。**
使ってよい時間や場所を守りましょう。

2



AIが作った文章やアイデアをそのまま写すだけでは、あなたの力になりません。
AIを参考にして、自分で考えて直したり、付け足したりしましょう。

3



AIが出した答えやアイデアは「参考」です。
それで正しいか、本当によい考えかを自分で確かめて、**最終的な答えは自分で考えましょう。**

③ AIの活用例

～タブレット端末で出てくるブラウザAI要約や
自宅で生成AIサービス(例:チャット型AI)を使う場合～

悪い例

学習で...

✕ 分からないことを、すぐにAIに聞いてしまう。

調べ学習で...

✕ AIがまとめた内容を、そのままノートに書く。

作文で...

✕ AIが作った作文を、そのまま提出する。

作品制作で...

✕ AIだけで作った作品を、自分の作品として提出する。

活用例

まずは自分で考えたり、教科書を読んだりしてから、AIを活用する。

まず教科書や資料で調べて考え、AIに助けてもらいながら自分の考えをよりよいものにしていく。

自分で書いた作文について、表現のアドバイスをもらう。

自分のアイデアを考えた上で、AIを参考にしながら工夫する。

AIを使って考えたあとは、**必ず教科書に戻って確かめよう！**

3種類の生成AI

対話型生成AI



(例)「Copilot」「Gemini」など
➡人間と自然な会話を行いながら質問に答え、文章やイラスト、アイデアなどを生成します。

学校向け生成AI



(例)「都立学校向け生成AIサービス」など
➡教科書などをもとに回答を作成して一人ひとりに合わせた学習支援をすることができます。
※ 港区では、現在導入していません。

ブラウザAI要約



(例)「Google検索AIモード」など
➡Webブラウザに組み込まれ、検索結果やWebページの内容を自動で要約します。

3限目

食 べ る こ と に、

あ り が と う。

— 学校給食を通じて育む 食への感謝 —



食育の成果を3年後・5年後に評価

港区は、食育の成果を「**3年後・5年後**」に評価するとしています。

第4章 指針の推進

2 各主体の役割

学校における食育は、校長のリーダーシップのもと、学級担任や家庭科、保健体育など関係する教科の担任、栄養教諭、養護教諭など関係教職員の連携・協力により組織的に取り組みます。

また、家庭や地域においても、それぞれが食育の担い手として役割を果たすことで、子どもたちの基礎体力の向上や健全な生活習慣づくりを効果的に進めることができます。

主体	役割
教育委員会	<学校、家庭、地域をつなぐ区全体の食育環境の整備>
	○学校、家庭、地域が連携して食育を着実に推進するために、 3年後、5年後 の児童の体格や健康度、 知識・行動の変化 などの 成果を評価 し、 フィードバック するなど各主体を支援します。
	○学校、家庭、地域に対して、本指針の目標が達成されるよう技術的な支援を行います。
	○各地域において子どもたちへの食育を推進するため、関係部署との緊密な連携を図り、取組を推進します。

出典：港区教育委員会「港区学校教育食育推進指針」（平成31年3月）冊子34ページ（PDF 40/54ページ）